

麻生区区民会議 第9回若い世代が住みやすいまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年8月28日（金）午後3時00分～午後4時30分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：〔専門部会委員〕石井委員、上野委員、金光委員、志村委員、白井委員、菅野委員、
山田委員、吉垣委員
（欠席）梶委員、高橋委員
〔事務局〕企画課 白石担当係長、佐藤 〔コンサルタント〕佐藤
- 4 傍聴者 2名
- 5 議 事

（1）総合計画について

《主な意見》

- ・横浜市営地下鉄の延伸や北口の再開発について検討をしてみるのはいかがでしょうか。
- ・地下鉄の問題は横浜市がどうしたいか、横浜市の予算で動いているので、川崎が何かをいう状況ではない。
- ・30年後に仮に地下鉄が延伸をされたときに、流れてくる人たちを新百合ヶ丘で受け入れることができるのか。そのためにも、ここである程度、議論をして、提言するのはどうか。
- ・横浜市では、地下鉄延伸の話は先延ばしにされたことから、優先順位は低いのではないか。
- ・以前にも話題が出ていたが、地下鉄延伸や北口の再開発の話は、区民会議では行っていないとした経緯がある。
- ・若い世代が住みやすいという部分の中に、こういった内容が解決されれば、魅力に繋がるという表現がよいのではないか。

（2）調査審議課題の検討について

【①麻生区の魅力のブランド化とPR】

●子育てフェスタのアンケート内容・実施体制について

《主な意見》

- ・上の年齢をもう少し詳しく、選択できるようにするのはどうか。
- ・昨年度受付をしていたが、あまり年齢層が高い人は来ない。アンケートをやるのは、小さい子どもがいる人が多い。50歳以上を入れるのはどうか。
- ・設問11について、質問の仕方を若干変えた方がよい。

《決定事項》

- ・年齢層で、40～49歳、50歳以上の項目を追加する。

【②学生課へのヒアリングについて】

《決定事項》

- ・麻生区の6大学のみにし、多摩区3大学にはヒアリングに行かない。
- ・学生課にヒアリングを行うが、学生までヒアリングを行える場合は、適宜行う。
- ・事務局から依頼文を送り、日程を確認し、ヒアリングに行ける委員2～3名で伺う。

【③空家の利活用について】

《主な意見》

- ・多摩ニュータウンでも空き家が多く、市が仲立ちし、多摩大学と連携して横須賀市と同じように実施している。
- ・麻生区内にある、空き家でシェアハウスを行っている、という事例を今後取り込んでいくのはどうか。
- ・成功している事例のところに、ヒアリングに行ってみるのはどうか。

【④提言に向けて】

《主な意見》

- ・今後、子育てフェスタでのアンケート結果から、麻生区のPRしたい魅力を特定した後に、具体的にどのようにPRしていくのか、今後検討していく必要がある。
- ・新百合ヶ丘を今後どういった街にしていきたいのか。例えばレジャー施設があり遊べる街なのか、高級住宅街のようにしていくのか。
- ・宮崎県の綾町がまちおこしに成功し、活性化している。そこでは、町長が主体的に動いている。
- ・既に麻生区の魅力はたくさん出ている。それらをまとめて、うまいキャッチフレーズをつけ、PRしていけばよい。
- ・業者の言い分、空き家の所有者の言い分があり、それらを相談できる場所など、さらに大学などとも連携する仕組みがあるとよいのではないかと。また、そういった仕組みづくりについて、アイデアを出すとはよいのではないかと。
- ・町会の中から、空き家を報告してもらうような仕組みを作り、町連などと連携していけば、広がるのではないかと。
- ・最終的には、需要者と供給者との話になるが、そこまで話をもっていけるようにできないかと。

（３）次回について

- 子育てフェスタで実施したアンケートの結果が、間に合えばそれについて検討する。
- 学生課へのヒアリングの結果について検討する。

以 上